

令和2年度使用教科用図書 選定理由書

《小学校用教科用図書》

国語	…	P.1	
書写	…	P.2	
社会	…	P.3	
算数	…	P.5	
理科	…	P.6	
生活	…	P.7	
音楽	…	P.8	
図画工作	…	P.9	
家庭	…	P.10	
保健	…	P.11	
外国語	〈英語〉	…	P.12
道徳	…	P.13	

教科名（ 国語 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習を通して身につける言語能力の分類ごとに「言葉の力」というマークが明示され、言語の学習が順序よく着実に行える。 ・各単元の終末にあるてびきの冒頭には、単元の「問い」が示されている。言語活動としてその「問い」を解決していくことで学習のねらいが明確になるとともに学びが深まり、確かな言葉の力がつくように工夫されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明文の学習では同一単元で複数の教材を提示し、比べ読みができるようになっている。比較することで書き方の特徴が見分けやすくなっている。これは、「話す・聞く、書く」力の育成に効果がある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての学年の教科書に学校図書館に関する教材を設定している。活用法が各学年でわかりやすく記載されている。読書活動の充実を促す工夫がみられる。 ・他教科との関連や、今日的な教育課題の関連を取り上げて、学習者の学びに向かう力の育成にむけて工夫がなされている。 ・「話すこと・聞くこと」では、対話→聞く→話し合い→話す という活動ができるような単元の配列になっている。伝え合う力を培う場が設定されている。 ・様々な職業の人たちを紹介しており、兵庫県・丹波地域がすすめている「キャリア教育」（基礎的・汎用的能力）を育むのに、効果的な資料が多く見られた。 ・5・6年において、兵庫県について題材を取り上げている。ふるさと兵庫を愛する「ひょうご人として」の育成を推進することができる。 <p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元を「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の3ステップで構成されており、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。 ・国語科で育む資質・能力を「言葉の力」として分かりやすく提示されている。どんなことを身に付けるのか、学習者が見てはっきりとわかるシンプルな表記になっている。 ・入門期では、特殊音節のつまずきを考慮し、「多層指導モデルMIM」の指導法を取り入れている。学習者にとって、とてもわかりやすい教科書である。 ・兵庫県や防災に関する内容に関する記述がバランス良く配列されており、ひょうご教育創造プラン・丹波地域の教育の内容と合致している。 ・兵庫県・丹波地域が推進している「キャリア教育」を育むための、効果的な資料が多く見られる。 			

教科名（ 書写 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左利きの児童の学習しやすさを考慮して、利き手によらず教材文字が見やすいように工夫している。また、鉛筆の持ち方の説明においても、左利きの持ち方の写真が掲載されている。 ・色覚の多様性に配慮した配色及びデザインになっている。 ・一年間の学びを見通すイラストマップで児童が見通しをもてるようにされており、見通しを持つことで主体的な学びが促進できるように配慮されている。 ・書写学習がふだんの生活や他教科の学習に生かせるようにしてある。また、学年段階に応じて古典の作品も学習でき、国語科との関連や中学校への接続などの工夫がされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう、「書写のかぎ」を全学年に用いたり、3年生以上では書写のインデックスを取り入れたりして系統的・螺旋的に学習できるよう工夫している。 ・毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し適切な順で単元を配列することで、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるようになっている。 ・4年生以上では、防災に関する内容、6年生では兵庫県に関する内容として豊臣秀吉の手紙が取り上げられており、ひょうご人としてふるさとの関心を深める内容が扱ってある。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する知識・技能と、文字を正しく整えるための思考力・判断力・表現力等を育成できるよう、見開きの左ページを手本、右ページを解説にあてるなど配慮している。 ・児童自らが見通しをもって学び、友達や教師との対話を通して学びを振り返ることができるように工夫することで、「主体的な学び」「対話的な学び」を実現できるように構成されている。また、学んだことを他の文字や生活の中で活用することを通して、「深い学び」を実現できるようになっている。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書がワイド判になっており、ゆったりとした文字・イラスト・書き込みスペースが配置されている。 ・左側のページには学びのインデックスがあり、とても見やすく、使いやすくなっている。 ・全学年を通し「書写のかぎ」が単元の核として配置してあり、「何を学ぶか」が明確化されており、児童自らが身近な文字から課題や文字を整えて書くためのコツを見つけることで主体的な学びにつながる。 ・特別な教育的ニーズのある児童にもわかりやすいすっきりした紙面であり、また、ユニバーサルデザインを用いた配慮が随所になされている。 			

教科名（ 社会 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科の学習にとって重要な用語は「キーワード」で示され、本文中で対応する箇所の文字はゴシック体で示されている。 ・資料の読み取りや、本文と資料を関連させながら紙面がレイアウトされている。 ・社会的事象への興味・関心がもちにくい場合でも、社会の営みと身近な生活がつながっていることが実感できるよう、具体的な活動場面の写真や作業が示唆されている。 ・学習問題への気づきが難しい場合でも、社会的事象を読み取りやすいよう、写真などの資料が工夫されている。また、児童の多様な疑問や予想を話し合う交流が工夫されている。 ・情報収集や考察・まとめに対する指導のくふうと手だてとして、情報収集の仕方が「学び方・調べ方コーナー」で詳細に示されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を通して、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断できるよう、社会への関わり方を多角的に考えることに配慮されている。 ・読み取りやすいように本文の役割を「学習活動」「友だちの発言」「学習内容」の三つに分けて示している。 ・児童の思考の流れを重視した組織・配列になっている。児童が自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程がわかりやすく配列されている。 ・学習内容についての情報や資料、追究過程を原則見開きページにまとめられ、コンパクトに配分されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容、内容の取扱いなどをふまえて、児童の発達の段階と興味・関心を考慮し、社会的事象を適切に教材化した単元構成になっている。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で身につけておくべき社会的な見方・考え方や技能が、「見方・考え方コーナー」や「学び方・調べ方コーナー」で示され、習得することができる。中学校への接続を重視している。 ・6年巻末に、中学校社会科でどのようなことを学ぶのが掲載され、意欲をもって学習できるよう配慮されている。 ・余白が多く圧迫感を感じにくい紙面構成になっている。 ・近畿の事例地として21カ所、そのうち兵庫県は5カ所掲載されている。 			

教科名（ 社会・地図帳 ）

発行者番号	4 6	発行者名	帝国書院
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の地図では、地域の特色ある人々のくらしのようすや産業が読み取れるように、土地の高さによる色分け（等高段彩表現）と、土地の使われ方による色分け（土地利用表現）を組み合わせた地図表現にしている。 ・地形の起伏を捉えやすくするように、土地の高さによる色分け（等高段彩表現）と手描きによる陰影表現（レリーフ）を組み合わせた立体感のある地図表現にしている。 ・学習上大切な都道府県名や国名、都道府県庁所在地名や首都名など重要地名の文字は、太く大きくして読みやすくしている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生からの使用に対応し、初めて地図帳を手にする児童がつまづかないように、地図の成り立ち、方位、地図記号、距離の求め方、索引の使い方、縮尺などを、巻頭で12ページにわたってわかりやすく解説している。 ・児童が主体的に地図を活用できるように、自学自習ができる問い「地図マスターへの道」を設けている。問いに答えていくことで、達成感を得ながら地図活用の技能や「社会的な見方・考え方」を身につけられる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・47都道府県の名称と位置を習得できるページ「都道府県の名前と位置」を設けている。 ・四方を海に囲まれた島国で、南北に長い日本列島の特徴が視覚的にイメージできる地図「日本をながめてみよう」を設置している。また、地震や火山活動との因果関係が考えられるように、海底地形のようすを再現している。 ・特に日本と関係の深いアメリカについて詳しく学べる。 ・日本列島全図に、尖閣諸島と竹島が写真入りで載せられている。（領土のページ） ・インクルーシブ教育に配慮している。 <p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的で深い学びが実現できる問いのコーナー（地図マスターへの道）が設けられている。 ・防災の単元において、地域の防災に対して主体的に関わることのできる、防災マップがある。 ・地図のタイトルを左上に固定化するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・3年生での使用に配慮し、①方位や地図記号を丁寧に学べる。②3年生でも読み取りやすい日本を広く見わたす地図が掲載されている。③巻頭に外国語活動でも活用できる世界地図が掲載されている。 			

教科名（ 算数 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項や日常の身近な問題から学びをつないでいく単元のとびらになっている。 ・ めあてをすべての時間に例示し、めあてにつながる考えや気づきをマークで表している。 ・ 2次元コードが関連個所に掲載され、タブレット等ですぐに活用しやすい。 ・ 1・5・6年生は1冊。他は2冊。B5判。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の系統性だけでなく、習熟に要する時間や季節なども考慮された配列になっている。 ・ 補足的な学習内容は、最も多く用意されている。 ・ 補充問題は2段階の問題設定で習熟度別学習に対応できる。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が問題意識をもって主体的に算数に取り組めるように、日常から問題を見出すなどの数学的活動が積極的に取り入れられている。 ・ 児童の思考と学習展開に大きな隔たりが生じないようにスモールステップの展開になっている。 ・ 兵庫県に関する内容は、4年生(1)、5年生(2)、6年生(1)で扱われている。 ・ 防災に関する内容は、5年生(2)で扱われている。 ・ オリンピック・パラリンピックについては、3年生(1)、6年生(1)で扱われている。 ・ プログラミング的思考については、1年生(1)、2年生(1)、5年生(1)、6年生(1)で扱われている。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の導入が緩やかで、小学校算数の始まりとして適切である。 ・ 具体的な操作が多く、概念の習得や規則の発見などがおこないやすい。 ・ 補足的な内容が充実しており、個に応じた指導に活用しやすい。 ・ 2次元コードが、随所に配置されており、学校でも家庭でも学習に使いやすい。 ・ 色遣いがやさしく読みやすい。 			

教科名（ 理科 ）

発行者番号	6 1	発行者名	啓林館
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙や本文中に2次元コードが多く掲載されており、教科書の説明や内容を確認することができる。また、これにより児童自らが学ぶための資料となり、反転授業の可能性もある。 ・問題解決の過程が課題提示から考察、結論までの流れが分かりやすく表示されている。特に予想や計画、考察の場面では「理科の見方・考え方」を働かせながら対話的な学びができるよう構成されている。また、実験・観察の進め方がわかりやすく、安全に配慮したマークがあり、安全に実験・観察が進められるよう配慮されている。 ・他教科や中学校とのつながりがわかりやすく示されている。 ・写真が綺麗で使われ方が学習に興味を引く内容になっている。また、文字の大きさを工夫して、見やすく読みやすい。 ・児童が野外観察をする際に活用できる切り取り教材が巻末に付録としてついている（4年以外）。 ・単元末にノートにまとめた形式でふりかえりができ、児童が使いやすい。また、児童の自主学習の参考になる。 ・単元の中の構成がしっかりしていて、学習のつながりがわかりやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年で兵庫県や丹波地区に関する内容を取り上げている。 ・プログラミング的思考に関する内容を全学年で取り上げている。 ・単元末の知識の定着を確認する「たしかめよう」の分量は単元によっては少ない場合もあるが、「活用しよう」や生活との関連「つなげよう」が配置されている。 ・巻末は、目次つきで、算数科との関連、ものづくりなど整理されており活用しやすい。 ・3年は「かげと太陽」が2学期に連続してある。また、4年は通年で「生き物」が掲載されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング的思考に関する内容が全学年で取り入れられている。 ・環境教育、キャリア教育など今日的な課題にも多くの単元で考えられるよう取り上げている。 ・高学年の理科の内容、及び防災の視点で兵庫県の写真が多く使用されている。（ふりこのきまり：明石海峡大橋、大地のつくりと変化：丹波竜、阪神・淡路大震災） 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の方法が図や写真を入れ、わかりやすく掲載されている。 ・教科書に結果を記入できる欄があり、考えやすい。 ・3～6年全てにバランス良く、プログラミング的思考に関する内容や、ものづくりの例が配置されている。 ・全単元でデジタルデータへのアクセスが可能であり、わかりやすい。 			

教科名（ 生活 ）

発行者番号	17	発行者名	教育出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを深めるための「ひんと」や活動における安全面での「やくそく」などが、ページ内にわかりやすく提示されている。 ・活動がイメージしやすい写真例が多く掲載されており、視覚的に理解しやすい。 ・様々な思考ツールを活用した板書例が提示され、教師自身が学びを整理する手がかりとなる記述も多い。 ・単元の終わりに自己評価を促す工夫が施されており、学ぶ意欲をはぐくみやすい。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校と生活」「家庭と生活」「地域と生活」の内容が上下それぞれに掲載されるのではなく、上下を通して学べる配列となっている。 ・「家庭と生活」の取り扱いが比較的少ない。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング的思考に関する内容の取り扱いが多い。 ・主体的な気づきを促す言葉かけが多く記載されている。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを視覚化させている紙面構成が、アクティブラーニングの導入として適当である。 ・「生活や出来事の伝え合い」の取り扱いの量が多く、思考を組み立てたり整理したりする活動が豊富に掲載されている。 ・「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」が視覚的にとらえやすく、児童の関心や意欲を引き出す内容になっている。 			

教科名（ 音楽 ）

発行者番号	27	発行者名	教育芸術社
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間の見通しをもって学習を進められるように、教科書のはじめの見開きに4つの領域に分けた学習内容や活動言葉と絵で示されている。それが、学年ごとに取り扱う楽器が増えたり、入学から中学校進学をイメージする地図があったり、「まなびの木」が育つ姿があり、児童には、音楽の学習の活動や意味を学ぶのに役立てられる。 ・ 学習を進める上で大切な言葉や楽譜などの情報に注目できるように、キャラクター等が吹き出しでヒントを示す表現方法がとられ、児童の気づきを誘っている。また、落ち着いた色調と統一感のあるイラスト・レイアウトである。 ・ 学習をサポートするコンテンツが、教科書の2次元コード読み取りにより ICT 機器で閲覧できる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「つながる（つなぐ）」をキーワードに、育てたい事柄を整理して単元や題材に盛り込まれている。 ・ 題材が系統性と発展性をもって組織され、そのつながりを意識して指導できる工夫がある。 ・ 補助教材の分量は多くはないが、授業時数の観点から考えると題材で扱う曲数は適当である。 ・ 各学年のはじめに歌唱曲があり、クラスソング的な扱いが可能である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化を感じ取れるよう、写真資料やコラム等の関連資料が示され、調べ活動のヒントなども載っている。伝統文化だけでなく、例えば共通教材に関するコラム（新茶の話・インタビューなど）や卒業式の歌に込める思いを記入する欄、はじめの見開きページの1年間の音楽の学習の見通しの絵など、教科書が「つながる（つなぐ）」をキーワードに作られたことが随所に感じられる。 ・ 教科書の最後にふり返りのページがあり、学習したことを確かめたり振り返ったりできる。 ・ 主体的な学びを引き出し、さらに「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を進められるように、具体的な活動例や学習の目標が示され、キャラクターの吹き出しによって説明ではないヒントが示されている。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書ではあるが、「テキスト」というより「まなびの道しるべ」になる作りであり、子どもにも指導者にとっても授業の中で考えるところがたくさんある。特にキャラクターの吹き出しの言葉は、子どもの側に立った説明方法として考えさせやすい。 ・ 教科書の特徴でも述べた教科書はじめの見開きページの「まなびの木」は、6年間の音楽での成長が描かれ、当該年度1年間の見通しだけでなく積み重ねてきた力も感じることができ、この絵を使って音楽科のねらいを子どもも指導者も理解し、自らの生活に活かすことができると考える。 			

教科名（ 図画工作 ）

発行者番号	1 1 6	発行者名	日本文教出版
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由度があり、指導において試行錯誤させやすい。 ・他社に比べてページ数が多く、作品の紹介が大きくて見やすい。また、字体もやわらかい。 ・子どもの活動写真が多く入っていて、生き生きとした楽しそうな活動が紹介されている。また、写真が連続していて、制作の見通しが立てやすい。さらに、写真がきれいで見やすい。 ・材料と用具の使い方の説明がわかりやすく、児童の主体的な学びに活用できる。 ・見開き構成の右下に、「きをつけよう」「かたづけ」がレイアウトされており、安全面の意識が自然とできる工夫がなされている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙を開けると、児童が意欲的に学習に取り組む写真が使われていて、興味を引きやすい。 ・目次のページに作品の写真が入っていてわかりやすい。 ・題材名が見やすく、興味の湧く工夫がされている。 ・題材の冒頭に「学習のめあて」が黒板表示の形で示されていて、見やすくわかりやすい。 ・「3・4年上」と「5・6年上」に兵庫県の素材が取り上げられている。 ・「5・6年上」では、「仙台・神戸こども絵画交流展」が掲載される等、防災に関する内容が取り上げられている。 ・用具の使い方が詳しく説明されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つながり ひろがり」のページでは、作品を通して周りの人や地域とのつながりに目を向けさせる工夫がされている。 ・目次の下に、「保護者の方へ」のコーナーがあり、家庭との連携も意識している。 ・自然の素材を生かした単元が多く、丹波篠山市、丹波市の地域性に合った内容となっている。 ・共通事項を視点に、対話している写真を掲載し、主体的・対話的で深い学びにつながるようになっている。また、児童のつぶやきの吹き出しも、数多く掲載されていて、主体的な学びにつながるよう工夫されている。 ・幼稚園や中学校とのつながりや教科横断的な視点での内容が示されている。 ・道徳との関連が深い材料には、道徳マークを提示し、関連付けが視覚的にわかるようになっている。 ・プログラミング的思考に関する内容が「5・6年上」に入っている。 ・オリンピック・パラリンピックに関する内容が、「3・4年下」に入っている。 <p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラムマネジメント」等、新学習指導要領への対応が丁寧になされている。 ・児童の発達段階や学年の系統性を踏まえた題材が掲載されており、表記や写真、吹き出し、図等も見やすく、「主体的・対話的で深い学び」を保障していくうえで、使いやすい。 ・自然の素材を生かした単元が多く、丹波篠山市、丹波市の地域性に合った内容にもなっている。 			

教科名（ 家庭 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大題材ごとに学習の流れを「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3ステップで提示し、ステップごとにタイトル下に学習のめあてを示している。 ・各大題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識して、学習がすすめられるようにしている。その視点を働かせながら、各所に掲載されている活動を行うことで、深い学びを実現できるようにしている。 ・学習したことを自己評価し、自己の成長を感じられるように「成長の記録」「5年生のまとめ」「2年間のまとめ」で学習のふり返りの場面を設けている。 ・思考力の伸長、知識・技能の定着のためのデジタルコンテンツを活用した学習ができる。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年間の学習の見通しが立てられるようなガイダンスが設置されている。 ・巻末に必要な時にいつでも基礎基本が確認できるよう実物大の作業場面の写真が豊富に掲載されている。 ・各学年の最後に「まとめ」のページが設定されるなど、中学校での学習のつながりを考慮した内容配列となっている。 ・「消費生活・環境」については、家庭科全体に必要な視点であるので、5年生の早い段階で取り組むことができるよう配慮されている。 ・学習したことを生かして、家庭や地域の生活の課題解決のための実践が「生活を変えるチャンス」として設定されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小題材のはじめに「学習のめあて」、終わりに「振り返ろう」があり、こまめに学習を振り返り学習内容の定着が図られるようになっている。 ・児童の思考力・判断力・表現力が育成されるよう、小題材ごとに「活動」が入っている。大題材の最後には「活動 深めよう」によって、学びを総合的に生活に生かせるようにしている。 ・兵庫県に関しては神戸市の広域避難場所の表示板の写真が掲載されている。 ・防災に関する内容については、地域・家族の一員として災害時にどのように行動するか等、衣食住の観点から詳しく掲載されている。 <p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判の教科書で、ゆとりがあり見やすくわかりやすい構成となっている。 ・3ステップによる学習の流れが明確であるとともに、効果的な写真や挿絵が用いられていてイメージが膨らませやすい。 ・生活経験不足の児童にとっても学習内容が習得しやすく、丹波地域の児童の実態にも合っている。 			

教科名（ 保健 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という学習活動から構成されており、主体的・対話的で深い学びの実現が図られている。 ・学習課題を見つける活動が1ページでまとまっており、児童の気づきが大切にされている。 ・紙面の色数が限定され、フォントや構成も工夫され落ち着いたレイアウトとなっている。活動は野線で囲んであるため、本文と明確に区別できる。 ・児童が考えを記述しながら学ぶための書き込み欄がある。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の配列は、他社と比べて相違ない。 ・教科書の分量、内容ごとに取り扱うページ数は5社の中で一番多い。 ・他教科との関連が表記されている。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や体の発達についての課題を明らかにし、主体的・対話的な学びの実現に向け構成されている。 ・身近な生活における健康・安全に関する内容については、すべての単元において学習活動が統一されている。 ・防災に関連した内容については、中・高学年で取り上げられ、資料数ページ数は比較的多い。 ・5・6年生の教科書では兵庫県に関する内容が5件取り上げられている。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨に基づく主体的・対話的な学びのための工夫が随所に見られる。 ・学習活動が明示されている。 ・児童の理解を助けるフォントやキーワードの強調などユニバーサルデザインへの配慮がみられる。 ・資料の数や書き込み欄が豊富であることから児童の主体的な学びの実現が図りやすい。 ・巻末には、キャリア教育に配慮した内容が掲載され他教科との関連も明記されている。 ・防災に関するページや兵庫県に関する資料も多く扱われている。 			

教科名（ 外国語〈英語〉 ）

発行者番号	2	発行者名	東京書籍
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力を育成するために、他者に配慮し、目的・場面・状況を意識した言語活動を「読むこと」「書くこと」を含めて楽しく学習できる。 ・各単元内の活動を簡単な言語材料と児童の身近な場面で精緻に組み立て、Small Talkなどで繰り返し使って、中学校につながり確かな力を育てることができる。 ・単元のまとまりごとに振り返りのページが設定してあり、CAN-DO リストも活用しながら、つまづいた時に振り返ることができる工夫がある。 ・文部科学省教材「Let's Try!」や「We Can!」の指導内容を拠り所に、あらゆる「学び方」の選択肢が用意されている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生では、自分・地域・日本、6年生では、世界や将来をテーマとした学習内容の構成である。 ・全ての単元（Unit）が4パート構成で統一され、目標（ゴール）が明示されており、授業の流れやポイントが児童や指導者にとって分かりやすい。また、学期の終わりには、複数の単元での学習内容を活用して行う活動が設定されている。これらにより、学びのプロセスが明確である。 ・音声のインプットを中心とした活動から、アウトプットを中心とした活動という構成である。 ・5年生、6年生ともに、8単元の構成である。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4技能5領域について、段階を追って2年間でバランス良く配列されている。 ・各単元が「聞く→話す→読む・書く」という言語獲得の自然な流れの構成である。 ・扱う技能がアイコンで児童に分かりやすく明示されている。 ・場面設定に必然性があり、魅力ある主体的な課題で他者との学びが実現されやすい。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ下欄に毎時間に取り入れる活動（「Small Talk や「Sounds and Letters」）が明示され、系統的に学習を行うことができる。 ・「Sounds and Letters」は、巻末にまとめられ、学習後の振り返りが容易である。 ・各単元末に発展学習ができる「Over the Horizon」というページが設けられており、学習時間の調節が容易である。 ・単元ごとに「書く」活動が設定され、学年末に1年間の学習を振り返りやすい。特に6年生の教科書は、各単元の「書く」活動が巻末にまとめられており、中学校での学びに接続しやすい。 ・別冊「Picture Dictionary」には、児童が2年間の学びを俯瞰できる CAN-DO リストがある。 ・丹波地域が取り組んできた授業の組み立て方に最も合致しており、これまでの取組を十分に活かすことができる。 			

教科名（ 道徳 ）

発行者番号	38	発行者名	光村図書
<p>【教科書の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が本気で考え、議論することができるよう、1つ1つの教材に細かい配慮がなされている。 ・児童が身近に感じられるような設定で、自分自身で判断し行動につなげる問題解決的な学習が取り入れられている。 ・授業で考えたことを日常生活や他教科・領域等とつなげる配慮がなされている。 ・めあてを通して、主体的に学ぶ姿勢を促し、対話を通して深い学びにつながる問いの工夫がある。 ・B5変形判になり、調査対象中最小サイズのB5判のコンパクトさを堅持しつつ、見やすい紙面になっている。 <p>【内容の配列と分量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間を3つのまとまりに分け、視点の焦点化を図った配列である。 ・道徳の授業で学ぶことや学んだことをはっきりと自覚できる工夫がある。 ・よびかけや教材、コラムを組み合わせ、内容項目から考えたことを現代的な課題として見つめる配列がなされている。 ・いじめに関する内容が1年を通して多面的・多角的に意識し続けることができるよう、バランスよく配置されている。 ・35教材を設け、年間35時間分を保障している。 <p>【学習指導要領の趣旨及び県基本計画・市教育振興計画をふまえた内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題では、複数の教材のセットでじっくり考えたり、具体的な活動を促すSST（ソーシャルスキルトレーニング）を全学年に設けたりしている。 ・役割演技の手立てを全学年に位置づけ、体験的な学習を進める工夫がある。 ・食文化、年中行事、地域の祭りなど、伝統文化の継承について考えられるよう工夫されている。 ・兵庫に関して取り上げている教材は、3年生以上で、播州そろばんと阪神淡路大震災である。 ・防災については、4年生以上で阪神淡路大震災や東日本大震災、関東大震災等を取り上げている。 			
<p>【選定理由】</p> <p>下記の点を評価し選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さし絵が親しみやすく魅力的で、教材も様々な内容のものがバランスよく配置されている。 ・巻頭と巻末に、道徳の授業で学ぶことや学んだことをはっきりと自覚できる工夫がある。 ・めあてを通して主体的に学ぶ姿勢を促し、対話を通して深い学びにつながる問いの工夫がある。 ・考え、議論することを促すような教材が掲載されている。 			